

センター第一期研究の成果

非文字資料研究センター

センター長

福田 ア ジ オ

FUKUTA Ajio

5年間の事業期間を無事終了した21世紀COEプログラムの成果を継承し、発展させるために、2008年4月に非文字資料研究センターが設置されました。非文字資料研究センターの設置は、すでに21世紀COEプログラムの申請に際して作成された研究計画書に記載され、神奈川大学として約束をしていたことでした。21世紀COEプログラムの事業が順調に展開し、大きな成果を収めて終了することが明瞭になってきた段階で、大学当局も積極的にセンター設立を考え、制度化を進めてくれました。

2008年4月1日に、それまでの21世紀COEプログラムの利用してきた全施設を「居抜き」でセンターの施設とし、また事務組織もそのままセンターの事務室となって非文字資料研究センターは発足しました。しかし、それまでの文部科学省の補助金はなく、あくまでも大学の自主的な財源によるものであり、その規模は縮小せざるを得ませんでした。センターには研究員を置き、共同研究を展開することになっておりましたが、21世紀COEプログラムの事業推進担当者全員をそのままセンター研究員に移行することは不可能でした。21世紀COEプログラムの研究担当者のうち三分の一ほどの人数をセンターの研究員とした、少数精鋭の組織として出発しました。

21世紀COEプログラムでは、無限に存在する非文字資料から図像、身体技法、環境・景観の三つを選んで課題を設定しました。それぞれの事象から資料化する方法を検討し、資料を獲得し、さらにそれら相互の関係を明確にすると共に、相互関連させるなかから非文字資料の体系化を図ろうとするものでした。幸いにして、21世紀COEプログラム委員会の事後評価において目標を達成したという高い評価を与えられました。非文字資料研究センターでは、この三つの非文字資料を継続して取り上げ、課題を設定し、新たな水準の非文字資料研究を展開することを目指して共同研究を組織しました。

21世紀COEプログラムは初めから事業期間は5年間と決められていましたので、目標の設定もその時間範囲のなかでできることに絞って計画されました。しかし、非文字資料研究センターは永続的な組織であり、研究の区切りとなる時間が制度上設定されておりません。そこで発足にあたり、研究期間を1期3年として研究を展開することにしました。2008年度から始まり、2010年度末までの3年間で非文字資料研究センターの第一期研究としました。3年で区切ることで、研究の達成目標を明確にし、また3年ごとに新しい研究を組み込む可能性を作りました。

第一期の研究は、以下のように、基幹研究という非文字資料研究全体の問題を課題とする共同研究

二つと個別研究という個別分野の研究課題を設定して行う共同研究四つの計六つの共同研究を組織しました。

基幹研究

非文字資料研究ネットワーク形成研究

地域統合情報発信の開発

個別共同研究

『マルチ言語版絵巻物による日本常民生活絵引』編纂共同研究

関東大震災の都市復興過程とそのデータベース化、並びに資料収集

中国・韓国の旧日本租界

持続と変容の実態の研究——対馬 60 年を事例として

それぞれセンター研究員を中心に、その問題を研究している学外研究者を研究協力者として迎えて研究班を組織し、活動を開始しました。各研究班は熱心に課題に取り組み、研究を進展させましたが、その中間において公開研究会を開催し、また新たに獲得した知見を年報やニューズレター上で披露してきました。そして、第一期が終わるにあたり、3年間の成果を班として取りまとめ報告することとしました。本号には各研究班が取りまとめた研究成果が報告されております。ただし、『マルチ言語版絵巻物による日本常民生活絵引』編纂班のみは、別に『マルチ言語版絵巻物による日本常民生活絵引』第三卷（Multilingual Version of Pictopedia of Everyday Life in Medieval Japan compiled from picture scrolls, vol.3）として成果を刊行しておりますので、ここには成果そのものを収録せず、班活動の経過概要のみを掲載しました。詳しい成果は『マルチ言語版絵巻物による日本常民生活絵引』第三巻で直接確認いただきたいと思います。

ここに収録した各班の研究成果について、大いに成果を挙げたとするか、期待に応える内容ではないとするか意見は分かれるところかと思えます。しかし、種々の困難な条件のなかで悪戦苦闘して共同研究を進めてきた成果であることは間違いありません。どうか忌憚のないご批判をいただきたくお願い申し上げます。そして、非文字資料研究センターの第二期研究事業に引き続きご助言、ご支援を頂戴したくお願いいたします。